

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041001	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (G(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	連 清吉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	連 清吉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	連 清吉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟31			
対象学生(クラス等) /Object Student	多文化社会学部 1 年			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lien@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟 2 F			
担当教員TEL/Tel	819-2924			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日午後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			

第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習 総合小テスト
第6回	第5課『你叫什么名字?』 文法: 判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「嗤」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么?』 文法: 指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗?』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」/ 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590041002	科目番号 / Subject code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (G(中2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B 棟44		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部新館 1 階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火の 4 校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Goal	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4. 日本中国語検定試験準 4 級を目指す。		
授業方法(学習指導法)/Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト: 楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)		
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)		
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)		
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ		

第5回	発音の復習 総合小テスト
第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041003	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (M1～M3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10ー12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041004	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (M4～M6)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041005	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (K(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 季文			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 季文			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 季文			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jgypk388@ybb.ne.jp			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標 / Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容 / Class outline / Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト:楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書:日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041006	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (L1・L2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 芳			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 芳			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 芳			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	g_fangyuan@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041007	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (L3・L4)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041008	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (L5・L6)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10ー12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041009	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10-12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041010	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 迪			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 迪			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	王 迪			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育B棟44			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前、授業終了後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041011	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中3))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部新館 1 階			
担当教員TEL/Tel	095-819-2166			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火の 4 校時			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			

第5回	発音の復習 総合小テスト
第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041012	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中4))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 芳			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 芳			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 芳			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	g_fangyuan@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041013	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中5)_K(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賀 南			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賀 南			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賀 南			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟31			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	carrieheegana@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041014	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 季文			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 季文			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 季文			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jgyph388@ybb.ne.jp			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標 / Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容 / Class outline / Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト: 楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041015	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041016	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中3))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	郭 楊			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	郭 楊			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	郭 楊			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員TEL/Tel	080-3955-8579			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日の5限目			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			

第5回	発音の復習 総合小テスト
第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041017	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中4))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	郭 楊			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	郭 楊			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	郭 楊			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員TEL/Tel	080-3955-8579			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日の5限目			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			

第5回	発音の復習 総合小テスト
第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041018	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中5))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟24			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590041019	科目番号 / Subject code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (D1・D2_F(中2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10ー12:50(火・水)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)		
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)		
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)		
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ		
第5回	発音の復習 総合小テスト		

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041020	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (F(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590041021	科目番号 / Subject code	05900410	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (P1・P2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟24			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)			
第2回	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)			
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)			
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ			
第5回	発音の復習 総合小テスト			

第6回	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「嗤」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までのまとめ
第9回	第7課『这是什么？』 文法：指示代名詞[1] “这、那、这个、那个、这些、那些” / 「的」
第10回	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までのまとめ
第12回	第9課『你喝咖啡吗？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么样」
第13回	第10課『这件毛衣怎么样？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590043001	科目番号 / Subject code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (G(中1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	連 清吉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	連 清吉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	連 清吉		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) /Object Student	多文化社会学部 1 年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lien@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟 2 F		
担当教員TEL/Tel	819-2924		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日午後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらふ。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞		
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文		
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」		
第4回	第11課から第13課までのまとめ		

第5回	第 1 4 課『你看过《三国演义》吗？』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」
第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从・到・离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)		1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590043002	科目番号 / Subject code		05900430
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (G(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 晓安			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 晓安			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 晓安			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部新館 1 階			
担当教員TEL/Tel	095-819-2166			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の 4 校時			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト:楊晓安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書:日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法:存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法:助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法:助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			

第5回	第 1 4 課『你看过《三国演义》吗？』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」
第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从・到・离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043003	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (M1～M3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10ー12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)		1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590043004	科目番号 / Subject code		05900430
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (M4～M6)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form		演習
教室 / Class room	教養教育 B 棟44			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043005	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 K(中1)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 季文			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 季文			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 季文			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jgyphk388@ybb.ne.jp			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標 / Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容 / Class outline / Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい、そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト: 楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書: 日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法: 存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法: 助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法: 助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法: アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043006	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (L1・L2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 芳			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 芳			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 芳			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	g_fangyuan@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい、そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043007	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (L3・L4)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043008	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (L5・L6)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10-12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/19			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043009	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10-12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/ 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043010	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 迪			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 迪			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	王 迪			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前、授業終了後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043011	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中3))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 晓安			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 晓安			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 晓安			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育 B 棟44			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部新館 1 階			
担当教員TEL/Tel	095-819-2166			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の 4 校時			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト:楊晓安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書:日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法:存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法:助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法:助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			

第5回	第 1 4 課『你看过《三国演义》吗？』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」
第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从・到・离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043012	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (E(中4))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 芳			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 芳			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 芳			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	g_fangyuan@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043013	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (E(中5)_K(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賀 南			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賀 南			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賀 南			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	carrieheegana@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/ 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043014	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 季文			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 季文			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 季文			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jgypk388@ybb.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043015	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育 B 棟44			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590043016	科目番号 / Subject code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	郭 楊		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	郭 楊		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	郭 楊		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	080-3955-8579		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日の5限目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト:楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書:日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法:存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞		
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法:助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文		
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法:助動詞「想」・「喜欢」・「打算」		
第4回	第11課から第13課までのまとめ		

第5回	第 1 4 課『你看过《三国演义》吗？』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」
第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从・到・离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043017	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中4))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	郭 楊			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	郭 楊			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	郭 楊			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員TEL/Tel	080-3955-8579			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日の5限目			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト:楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書:日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法:存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法:助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法:助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			

第5回	第 1 4 課『你看过《三国演义》吗？』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」
第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从・到・离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043018	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (T(中5))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟31			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい、そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/20			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043019	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (D1・D2_F(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10-12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043020	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (F(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育 B 棟44			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590043021	科目番号 / Subject code	05900430	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (P1・P2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟31			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。			
授業到達目標/Goal	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい、そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件(履修条件) /Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第11課『市立图书馆在哪儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量詞			
第2回	第12課『你会开汽车吗?』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文			
第3回	第13課『你打算去哪儿?』 文法：助動詞「想」・「喜欢」・「打算」			
第4回	第11課から第13課までのまとめ			
第5回	第14課『你看过《三国演义》吗?』 文法：アスペクト助詞「了・着・过」			

第6回	第 1 5 課『明天几点出发？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第 1 6 課『你家离学校远吗？』 文法：介詞「从•到•离」/ 「多～」
第8回	第 1 4 課から第 1 6 課までのまとめ
第9回	第 1 7 課『今天特别热』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第 1 8 課『桌子上有一本汉语课本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第 1 7 課から第 1 8 課までのまとめ
第12回	第 1 9 課『你的房间真干净』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第 2 0 課『老师让他去图书馆了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说
第14回	第 1 9 課から第 2 0 課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	口頭試問

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590045001	科目番号 / Subject code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2G(中1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	連 清吉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	連 清吉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	連 清吉		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) /Object Student	多文化社会学部 2 年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lien@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟 2 F		
担当教員TEL/Tel	819-2924		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日午後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」		
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]		

第3回	第2課『谈方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既...，又(也)...
第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話 文法：「不是...吗？」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現 / 会話 文法：「不但...，而且...」 / 「一...就...」 / 「先...，然后...」 / 離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現 / 会話 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有时...，有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話 文法：動量補語 / 時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話 文法：様態補語 / アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話 文法：「因为...，所以...」 / 「(虽然)...，但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話 文法：「正在...」 / 「还...」 / 方向補語 / 可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話 文法：「每与隔」 / 「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590045002	科目番号 / Subject code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2G(中2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1 階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4 校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」		
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]		

第3回	第2課『谈方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既...，又(也)...
第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話 文法：「不是...吗？」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現 / 会話 文法：「不但...，而且...」 / 「一...就...」 / 「先...，然后...」 / 離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現 / 会話 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有时...，有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話 文法：動量補語 / 時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話 文法：様態補語 / アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話 文法：「因为...，所以...」 / 「(虽然)...，但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話 文法：「正在...」 / 「还...」 / 方向補語 / 可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話 文法：「每与隔」 / 「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045003	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2M1～2M3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 芳			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 芳			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 芳			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	g_fangyuan@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」/「刚...」/「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每与隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045004	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2K1・2K2)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10～12:50(火・水)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」 / 「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045005	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2L1～2L3_2E(中5))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 留里子			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 留里子			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 留里子			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamada1211@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日1時限終了以降2時限目開始前			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」/「刚...」/「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每与隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045006	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2E(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	周 国強			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	周 国強			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	周 国強			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員研究室/Laboratory	zggsun.ac.jp			
担当教員TEL/Tel	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045007	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2E(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	祁建民			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	祁建民			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	祁建民			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp@sun.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語と中国語の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」/「刚...」/「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590045008	科目番号 / Subject code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2E(中3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1 階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4 校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」		
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]		

第3回	第2課『谈方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既...，又(也)...
第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話 文法：「不是...吗？」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現 / 会話 文法：「不但...，而且...」 / 「一...就...」 / 「先...，然后...」 / 離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現 / 会話 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有时...，有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話 文法：動量補語 / 時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話 文法：様態補語 / アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話 文法：「因为...，所以...」 / 「(虽然)...，但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話 文法：「正在...」 / 「还...」 / 方向補語 / 可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話 文法：「每与隔」 / 「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045009	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2E(中4))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	周 国強			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	周 国強			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	周 国強			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員研究室/Laboratory	zggsun.ac.jp			
担当教員TEL/Tel	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045010	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟24			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045011	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 乾忠			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 乾忠			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 乾忠			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takayama@wesleyan.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」/「刚...」/「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045012	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中3))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 迪			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 迪			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	王 迪			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育 B 棟44			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp@yahoo.co.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前、授業終了後			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」 / 「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話 文法: 「不是...吗?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現 / 会話 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現 / 会話 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有时... , 有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話 文法: 「因为... , 所以...」 / 「(虽然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話 文法: 「正在...」 / 「还...」 / 方向補語 / 可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話 文法: 「每と隔」 / 「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045013	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中4))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟24			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045014	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中5))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045015	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中6))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 乾忠			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 乾忠			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 乾忠			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takayama@wesleyan.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法)/Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」/「刚...」/「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045016	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2D1・2D2_2K3)			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賀 南			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賀 南			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賀 南			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟22			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	carrieheegana@yahoo.co.jp			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標 / Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容 / Class outline / Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件） / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」 / 「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045017	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2F(中1))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	祁 建民			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	祁 建民			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	祁 建民			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟23			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp@sun.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」/「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」/「刚...」/「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話 文法: 「不是...吗?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現 / 会話 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現 / 会話 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有时... , 有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話 文法: 「因为... , 所以...」 / 「(虽然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話 文法: 「正在...」 / 「还...」 / 方向補語 / 可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話 文法: 「每と隔」 / 「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590045018	科目番号 / Subject code	05900450	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2P1・2P2_2F(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 留里子			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 留里子			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 留里子			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamada1211@hotmail.com			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日1時限終了以降2時限目開始前			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10％)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第1課『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話 文法：「吗と呢」 / 「二と两」			
第2回	第1課『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話 文法：比較の表現 / “都不...” と “不都...” [閲読][中国的家庭结构(中国の家庭構造)]			
第3回	第2課『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話 文法：「听(据)说... / 听(据) ...说...」 / 「刚...」 / 「既... , 又(也)...			

第4回	第2課『谈方位』 場所について(2) 基本表現/会話 文法:「不是...吗?」/「除了...」/所在動詞“在”と存在動詞“有”/方向や位置を表す語 [閲読][我们学校(私たちの学校)]
第5回	第3課『谈时间』 時間について(1) 基本表現/会話 文法:「不但...而且...」/「一...就...」/「先...然后...」/離合詞
第6回	第3課『谈时间』 時間について(2) 基本表現/会話 文法:結果補語/「从...到...」/「名詞+了」/「有时...有时...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
第7回	総合復習
第8回	第4課『谈爱好』 趣味について(1) 基本表現/会話 文法:動量補語/時量補語
第9回	第4課『谈爱好』 趣味について(2) 基本表現/会話 文法:様態補語/アスペクト助詞「了・着・过」 [閲読][爱好(趣味)]
第10回	第5課『谈天气』 気候について(1) 基本表現/会話 文法:「因为...所以...」/「(虽然)...但是(可是)...
第11回	第5課『谈天气』 気候について(2) 基本表現/会話 文法:「只有...才...」/動詞の重ね/四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
第12回	第6課『谈体育』 スポーツについて(1) 基本表現/会話 文法:「正在...」/「还...」/方向補語/可能補語
第13回	第6課『谈体育』 スポーツについて(2) 基本表現/会話 文法:「每と隔」/「想・喜欢・打算」 [閲読][乒乓球(卓球)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047001	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2G(中1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	連 清吉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	連 清吉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	連 清吉		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	多文化社会学部2年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lien@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟2F		
担当教員TEL/Tel	819-2924		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日午後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		

第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都 + 疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分級(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590047002	科目番号 / Subject code	05900470	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2G(中2))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟41			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1 階			
担当教員TEL/Tel	095-819-2166			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の 4 校時			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の 1 年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3 分の 2 以上の出席が必要です。3 分の 1 以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻 3 回は欠席 1 回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」			
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]			

第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都 + 疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分級(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047003	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2M1 ~ 2M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高 芳		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高 芳		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高 芳		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	g_fangyuan@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047004	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2K1・2K2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 愛莉		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:10-12:50(火・水)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047005	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2L1 ~ 2L3_2E(中5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 留里子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 留里子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 留里子		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamada1211@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日1時限終了以降2時限目開始前		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给と为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047006	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2E(中1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	周 国強		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	周 国強		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	周 国強		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員研究室/Laboratory	zgg@sun.ac.jp		
担当教員TEL/Tel	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) /Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法:「五、六」/「不是... , 而是...」/「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法:「...的话」/「好 + 動詞」/「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法:「既然... , 就...」/「他们那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法:「只要... , 就...」/「除非... , 否则...」/「一来... , 二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法:「即使... , 也...」/「比如」/連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法:「给と为」/「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法:「再...也(都)...」/「不过...罢了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法:「难怪...」/「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法:「-起来」/「-下去」/程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047007	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2E(中2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	祁建民		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	祁建民		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	祁建民		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	qjmjp@sun.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講では中国語と中国語の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標 / Goal	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容 / Class outline / Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件） / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590047008	科目番号 / Subject code	05900470	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2E(中3))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟42			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1 階			
担当教員TEL/Tel	095-819-2166			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の 4 校時			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の 1 年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) /Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」			
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]			

第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都 + 疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分級(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047009	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2E(中4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	周 国強		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	周 国強		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	周 国強		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員研究室/Laboratory	zgg@sun.ac.jp		
担当教員TEL/Tel	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分級(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给と为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047010	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047011	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 乾忠		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 乾忠		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 乾忠		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takayama@wesleyan.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047012	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中3))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 迪		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 迪		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	王 迪		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wd2000jp@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前、授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標 / Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容 / Class outline / Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件） / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分級(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给と为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047013	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中4))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	陳 振華		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけ、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047014	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中5))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	趙 紅林		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分級(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31			
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0	
時間割コード / Time schedule code	20150590047015	科目番号 / Subject code	05900470	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●中国語 (2T(中6))			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 乾忠			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 乾忠			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 乾忠			
科目分類 / Class type	外国語科目			
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習	
教室 / Class room	教養教育A棟14			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takayama@wesleyan.ac.jp			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業到達目標 / Goal	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
授業内容 / Class outline / Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
受講要件（履修条件） / Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
学生へのメッセージ / Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」			
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]			
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」			

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047016	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2D1・2D2_2K3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賀 南		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賀 南		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賀 南		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育 B 棟44		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	carrieheegana@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047017	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●中国語 (2F(中1))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	祁 建民		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	祁 建民		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	祁 建民		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟23		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) /Method	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について（2） 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590047018	科目番号 / Subject code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 中国語 (2P1・2P2_2F(中2))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 留里子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 留里子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 留里子		
科目分類 / Class type	外国語科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟14		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamada1211@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日1時限終了以降2時限目開始前		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講では中国語 と中国語 の1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Goal	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト（50%）、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件（履修条件）/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身につけて、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課『谈旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...吧」 / 「给...」 / 「或者」		
第2回	第7課『谈旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話 文法：「跟(和、同)...一样」 / 「不仅如此」 / 「没想到...」 [閲読][中国十大名胜古迹(中国の十大名所旧跡)]		
第3回	第8課『谈饮食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話 文法：「越来越...」 / 「大概...吧」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」		

第4回	第8課『谈饮食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話 文法：「五、六」 / 「不是...，而是...」 / 「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
第5回	第9課『谈交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話 文法：「...的话」 / 「好 + 動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課『谈交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話 文法：「既然...，就...」 / 「他们那儿」 / 使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
第7回	総合復習
第8回	第10課『谈看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話 文法：「只要...，就...」 / 「除非...，否则...」 / 「一来...，二来...」
第9回	第10課『谈看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話 文法：「即使...，也...」 / 「比如」 / 連動文 [閲読][中国医院的分级(中国の病院の等級付け)]
第10回	第11課『谈购物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話 文法：「给与为」 / 「连...也...」
第11回	第11課『谈购物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話 文法：「再...也(都)...」 / 「不过...罢了」 / 結構助詞「的・地・得」 [閲読][网购(ネットショッピング)]
第12回	第12課『谈节日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話 文法：「难怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課『谈节日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話 文法：「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 [閲読][中国的节日与休假(中国の祝日と休暇)]
第14回	総合復習
第15回	口頭試問
第16回	筆記試験